



セットアップマニュアル

- このセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。
- 特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読まずに正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- セットアップマニュアルは「保証書」とともに大切に保管してください。
- 本機を譲渡する場合は、必ずこのセットアップマニュアルと一緒に譲渡してください。
- 本セットアップマニュアルを紛失した場合は、お買上げの販売店、または当社営業にお問合わせください。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書に記載されている画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
- (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項および(4)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となることがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
	液晶ディスプレイを廃棄する場合 ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳細は所在の地方自治体にお問い合わせください。なお、本機に添付の電源コードについても他の装置への誤用を防ぐため、本機と一緒に廃棄してください。

液晶ディスプレイの上手な使い方	
	日本国内専用です この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。 This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.
	キャビネットのお手入れ お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に濡した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。濡布をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用する溶剤をご確認ください。
	液晶パネルのお手入れ パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用するとともに、同じ布の繰り返し使用は避けください。
	上手な見方 明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。
	部品寿命による影響 保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。

重要なお知らせ

残像について
 残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面画像が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
 「スクリーンセーバ」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

1 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。

	△記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	○記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告	
	故障したときは電源プラグを抜く ディスプレイから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、ディスプレイを落としたりキャビネットを破壊した場合は、ディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害の原因になります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなう 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
	ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にびびりや亀裂がある場合は使わない そのまま使用すると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因となります。
	裏ぶたを外さない、修理・改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。修理の場合は販売店へお問い合わせください。
	電源コードを傷つけない 電源コードは大切に取り扱いってください。 コードが破壊すると、火災・感電の原因となります。 ・添付されているもの以外の電源コードは使用しない ・コードの上に重い物をのせない ・コードをディスプレイの下敷きしない ・コードの上を敷物などで覆わない ・コードを傷つけない、加工しない ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ・コードを加熱しない 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。
	傾斜面や不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
	キャビネットを破壊したときは使わない 火災・感電の原因となります。

2 ご使用の前に

付属品の確認 お買上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

電源コード	信号ケーブル	信号ケーブル
ベーススタンド	ケーブルホルダー	セットアップマニュアル
		液晶ディスプレイ構成品表
		付属品以外は非添付です。 付属品以外のケーブルで接続する場合は市販品を別途ご購入ください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。	VCCI-B
--	--------

注意
 建物に設置された配電盤は100V最大20Aの回路遮断装置を備えていることを確認してください。

注意
 添付のケーブルを使用してください。ミニD-Sub 15ピンについてはコア付きケーブルを使用してください。DisplayPort、Audioはシールドタイプを使用してください。
 これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。
 本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

Windows® は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
 DisplayPort および DisplayPort 口は、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。
 その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。



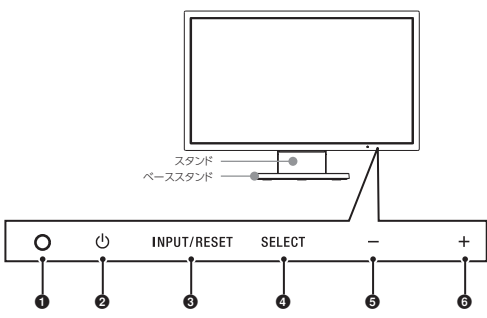
	風呂場や水のかかるところに置かない 水などがディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。
	異物をいれない 火災・感電の原因となります。特にお子さまにご注意ください。
	アースリード線を挿入・接触しない 電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。
	正しい電源電圧で使用する 日本国内専用です。 指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外で使用しないでください。 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。
	ディスプレイの清掃時に気を付けること 付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
	ポリ袋で遊ばない 本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。特にお子さまにご注意ください。
	雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない 雷が鳴り出したら電源コードなどには触れないでください。感電の原因となります。
	本装置の使用環境について 人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

注意

	設置するときに気を付けること 移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。 布などで通風口をふさいだり、以下の場所に設置したりしないでください。 風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。
	狭い場所 ・直射日光や熱源のそば ・振動の多い所 ・湿気、ほこり、湯煙、湯気の当たる所 ・屋外 ・温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい環境 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。 そのまま使用すると故障の原因となることがあります。
	取説説明書で示している設置以外での設置はおこなわないでください。
	ディスプレイや置き台には乗らない ディスプレイや置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。

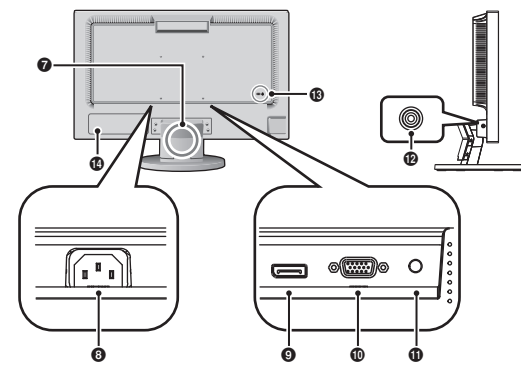
3 各部の名称

■ 本体正面



- 電源ランプ**
電源を入れたときは電源ランプは青色に点灯します。パワーマネジメント機能の作動中は橙色に点灯します。
- リキー(電源キー)**
電源をオン/オフするときにタッチします。
お 願 い
電源を短時間のうちにひんぱんにオン/オフしないでください。故障の原因となることがあります。
- 「INPUT/RESET」キー**
OSD 画面が表示されていないとき(ホットキー機能) 信号入力コネクタを切り替えます。OSD 画面が表示されているとき 現在表示中のメニュー内の項目のリセット画面が表示されます。
- 「SELECT」キー**
OSD 画面が表示されていないとき
 ・OSD 画面を表示します。
 ・3秒以上タッチすると「[B]」(ブルーライト低減モード)に切り替わります。OSD 画面が表示されているとき 選んだ調節項目を決定します。
- 「-」キー**
OSD 画面が表示されていないとき(ホットキー機能) プライムス調節画面を表示します。OSD 画面が表示されているとき 設定項目を左に移動するまたは数値を減少します。
- 「+」キー**
OSD 画面が表示されていないとき 音場調節画面を表示します。OSD 画面が表示されているとき 設定項目を右に移動するまたは数値を増加します。

■ 本体背面



	液晶パネルに衝撃を加えない 破壊してけがや故障の原因となることがあります。
	液晶を口にしない 液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。中毒を起こすおそれがあります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。
 	電源コードは注意して取り扱う 電源コードが破壊すると、火災・感電の原因となることがあります。 ・破れた手で電源プラグを抜き差ししない ・電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない ・電源プラグを掴まざさこむ ・電源コードの抜き差しはプラグ部分を持っておこなう ・電源コードが容易に抜けるのを防止する ・お手入れの際は電源プラグを抜く ・電源プラグのほこりなどは定期的に取る ・長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く ・アース線を接続する 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアース付きのプラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電のおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。
	スタンドに指をはさまない スタンド調節時または市販のアーム取り付け時に指や手をはさむとけがの原因となることがあります。
	スタンドまたは市販のアームを取り付ける場合 市販のアームを取り付ける際は本機を支えるのに十分なものをご使用ください。アームまたはスタンドを取り付ける際は指定のネジを使用し、しっかりと締めてください。液晶ディスプレイの転倒または落下の原因となることがあります。
	ヘッドホン装着したまま接続しない 音量によっては耳を傷める原因となることがあります。
	推奨の溶剤でお手入れする ペンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたらししないでください。変質・ひび割れたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学そうざんをご使用の際は、その注意書きに従ってください) また、ゴムやビニール製品などは長時間接触させたまにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れるなどの原因となることがあります。 パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合は水、エタノール、イソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水濡れ等がディスプレイ内部に入ったり表示画面以外のディスプレイ表面に付着すると、商品が破壊するおそれがありますのでご注意ください。
	1年に一度は内部掃除をする 内部にほこりがたまつたまま使用と、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。
	近くで無線機を使用しない 本機の近くで PHS、携帯電話等の無線機を使用しないでください。誤動作の原因となることがあります。

4 設置

ベーススタンドを取り付ける

水平な机の上にベーススタンドを置いてください。ベーススタンドのくぼみに本体スタンド部をあわせ、奥までしっかりさし込んでください。

- 注意**
- ・ベーススタンドと本体スタンド部が確実に取り付けられていないと本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
 - ・取り付けの際にベーススタンドと本体スタンドの四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。
 - ・ベーススタンドに本体を取り付ける際に指をはさまないように注意してください。

接続する

接続する前に
 ・本機を使用する場所に設置してください
 ・コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
 ・それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

1 信号ケーブルを接続する

- 信号ケーブルおよび変換アダプター(市販)は、コネクタの向きを確かめ、垂直に奥までしっかりと差し込んでください。
- お 願 い**
 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。
- お知らせ**
- ・信号ケーブルや電源コードが本機またはコンピューターに正しく接続されていないと、画面に何も映らない等の症状がある場合があります。
 - ・1台のコンピューターに接続するディスプレイはデジタル接続、アナログ接続のいずれか1つの接続方法となります。

2 オーディオケーブル(市販)を接続する

※オーディオケーブルをご使用にならない場合はこの作業は不要です。

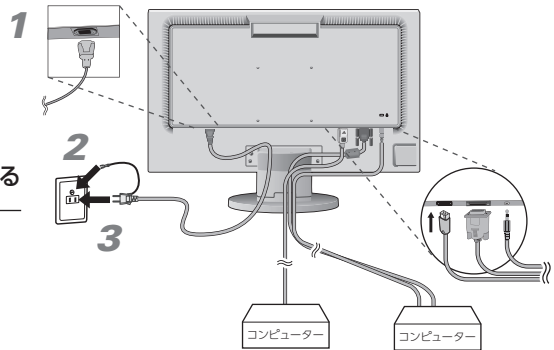
3 電源を接続する

- お 願 い**
 ・コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
 ・電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

- お 願 い**
 奥までしっかりと差し込んでください。

2 アースリード線を接地(アース接続)する



3 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する

⚠ 警告

- ・表示された電源電圧以外で使用しないでください。
- ・火災・感電の原因となります。
- ・本機には一般の家庭用のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。
- ・AC100V 以外で使用しないでください。
- ・電源プラグのアースリード線は必ず接地(アース)してください。なお、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お 願 い

電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

4 ケーブルホルダーを取り付ける

※ケーブルホルダーをご使用にならない場合はこれらの作業は不要です。
スタンド背面のくぼみにケーブルホルダーをあわせ、矢印方向にしっかり差し込んでください。

⚠ 注意

取り付け、取り外しの際は、ケーブルホルダーに指をはさまないように気を付けてください。けがの原因となることがあります。取り外しの際は、ケーブルホルダーのツマを片方つつ取り外してください。

お 願 い

- ・ケーブル類はケーブルホルダーに確実に入れ、また均等に収めるようにしてください。
- ・画面を前後に動かし、ケーブル類に十分な余裕があることを確認してください。

5 本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れる

4 調節をおこなう

1 画面の調節をおこなう

- デジタル接続の場合 (DisplayPort入力コネクター)
自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。
- アナログ接続の場合 (ミニD-Sub 15ピン入力コネクター)
まずは「5.設定」の手順に従って自動調節をしてください。

2 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように見やすい角度に調節します。

⚠ 注意

角度調節時に、指をはさまないように気を付けてください。
けがの原因となることがあります。

ヘッドホンの接続

本体側面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

⚠ 注意

ヘッドホンを装着したまま接続しないでください。
音量によっては耳を傷める原因となることがあります。

お知らせ

- ・液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、市販の「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ・ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。

7 付録

再梱包するときには

再梱包の際は次の手順でケーブルホルダー、ベーススタンドを取り外してください。

ケーブルホルダーを取り外すとき

図 1 の矢印方向にケーブルホルダーをスライドさせ、取り外してください。

ベーススタンドを取り外すとき

水平な机の上に柔らかな布を敷き、その上に本体表示部を下になるように置いてください。
図 2 のように片手でベーススタンドを持ち、もう一方の手でリリースボタンを押し、矢印の方向に引いてください。

⚠ 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。
また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。
リリースボタンを押す際に指をはさまないように注意してください。

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA規格に準拠した (100mmピッチ) 市販のアームを取り付けることができます。

⚠ 注意

アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。

お 願 い

市販のアームについては販売店にお問い合わせください。

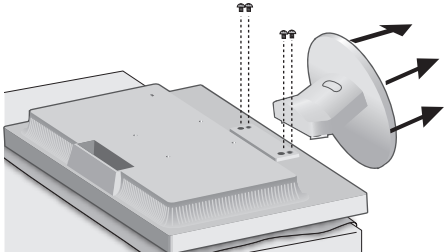
アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

スタンドの取り外し方

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外す

2 平らで安定した場所に柔らかな布を敷き、液晶パネルを下向きにして置く

3 スタンドを取りつけている 4 本のネジを取り外し、スタンドを引き抜く



5 設定

手順1 解像度を1920x1080に設定確認する

画面の解像度を1920×1080に設定し、確認してください。

手順2 画面表示の自動調節をおこなう(アナログ接続の場合)

本機をコンピューターとアナログ接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。

自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の2つに分かれています。いずれも調節をおこなってください。

お知らせ

- ・本手順はアナログ接続の場合のみです。デジタル接続の場合は必要ありません。
- ・自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。

1 本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れる

2 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 液晶ディスプレイ前面の SELECT キーをタッチし、OSD メニューを表示する

4 コントラストの自動調節をおこなう

- ① +キーをタッチし、「**AUTO**」にカーソルを移動し、SELECT キーをタッチします。
- ② INPUT/RESET キーをタッチします。コントラストの自動調節が実行されます。手順5に進みます。

5 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

- ① コントラストの自動調節が終わったら、SELECT/+キーの順にタッチして「**AUTO**」にカーソルを移動し、SELECT キーをタッチします。
- ② INPUT/RESET キーをタッチします。左右の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。「実行中」の文字が消え、元の画面が表示されたら、調節完了です。これですべての自動調節が完了しました。

6 OSDメニューを消す

- ① SELECT キーをタッチします。
- ② +キーをタッチして「**Exit**」にカーソルを移動します。
- ③ SELECT キーをタッチし、OSD メニューを消します。

お 願 い

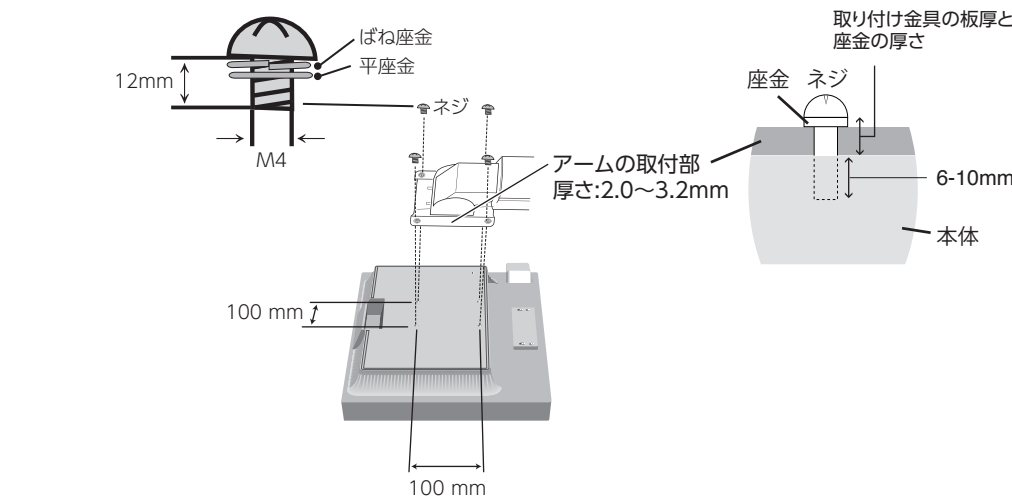
- ・DOSプロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。
- ・コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、マニュアル調節でお好みの画面に調節してください。
- ・白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。

- 画面を自動調節する際は、必ず画面いっぱいに白い画像を表示してください。
- OSD メニューは、何も操作しないと約 45 秒で消えてしまいます。操作が終了する前に OSD メニューが消えてしまった場合は、はじめから操作してください。なお、OSD メニューが自動的に消えるまでの時間は変更することができます。

アームの取り付け方

1 下記仕様のアームを取り付ける

取り付け可能アーム：
取り付け部厚み2.0mm～3.2mm
VESA規格準拠 (100mmピッチ)



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

⚠ 警告

- ・ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137N・cm が適切な締めトルクです。)
- ・液晶ディスプレイの表示部を下にし置いたまま固定できないときは、2 人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。
- ・取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
- ・アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
- ・万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- ・アームを取り付ける際は、必ず取の仕様のネジをお使いください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因となることがあります。
- ・市販のアームに取り付ける場合は、電源ランプを下側にした状態で設置してください。

6 困ったとき

故障かな?と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。 電源がオフになっている可能性がありますので、確認してください。 電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。 電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。
	電源ランプが青色に点灯している場合	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。 ● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。 ● OSD 画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。 信号ケーブルが本機または接続機器のコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。 変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。 接続しているコンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	液晶パネルの故障や劣化の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。

※ 液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か、修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
- 部署名、電話番号、受付時間などについては変更になることがありますのでご了承ください。最新情報につきましては、当社ホームページにてご確認ください。

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所 (付近の目標など)
- 電話番号
- 品名：液晶ディスプレイ
- 型名：N8120-202
- 製造番号 (本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など (できるだけ詳しく)
- 購入年月日または使用年数

案内画面 / 注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処
画面に「NO SIGNAL」が表示された※1	信号ケーブルが本体またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。
画面に「OUT OF RANGE」が表示された※2	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。
	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。

- ※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他の症状のときは・・・

Webサイト内の取扱説明書をご覧ください。

<http://support.express.nec.co.jp/pcserver/>